



まなびかんニュース パソコン道場

まなパソ道場

第89回

記載の画面は

Windows10
Office System 2016

黒帯級

目次シートとハイパーリンク ExcelVBA

拡大版



上図はExcelブックの中のシート名の様子だ。
ご覧の通りいくつものシートが並んでいる。

そこで「目次シート」を作って使い勝手を良くしよう
と思う。たくさんあるとシート名をいちいちコピーも
面倒なので、マクロを使って「目次シートにシート名
一覧」をイッキに作成したい。

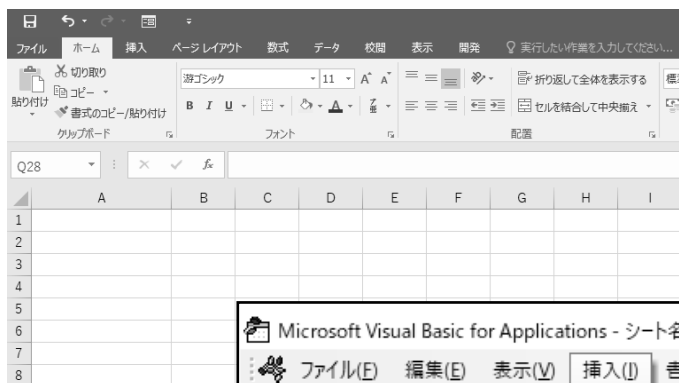
ついでなのでクリックしたらそのシートに飛んでいく
「ハイパーリンク」も同時に設定しよう。

今回は拡大版なのでちょっと欲張りな内容だぞ！

事前準備

1. 複数シートのExcelを用意。
※ない場合は[新規作成]→複数のシートを作成
※シートさえあれば良いので名前は適当で良い
※データも空っぽで良い
2. 左側に空の「目次」シートを作成。
3. [ファイル]→[名前を付けて保存]→ファイルの
種類を[Excelマクロ有効ブック(*.xlsm)]を選
択し、名前は任意で良いが「シート名一覧作
成」とでもしておこう。→[保存]。

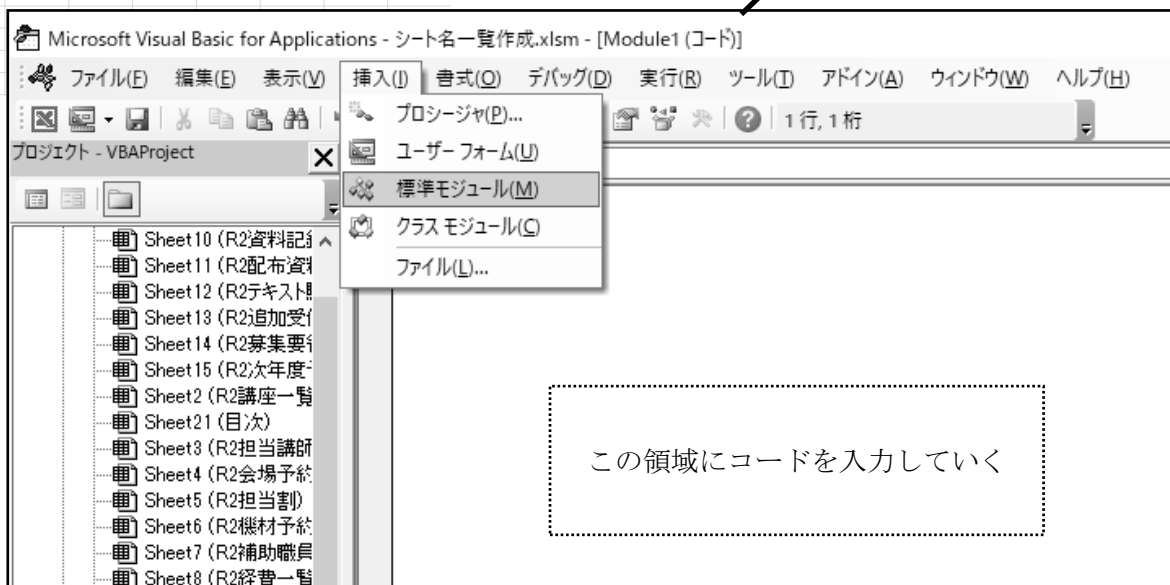
- 1 「シート名一覧作成.xlsm」を開きそのままキーボードの[ALT+F11] → Visual Basic Editor が起動する。
[挿入]→[標準モジュール]を選択すると下図のような白い入力画面が表示される。



Alt + F11



Visual Basic Editor



2 下図を参考に日本語以外は半角英数でコードを入力。

Microsoft Visual Basic for Applications - シート名一覧作成.xlsm - [Module1 (コード)]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) デバッグ(D) 実行(R) ツール(T)

プロジェクト - VBAProject

(General)

```

Sub myAddHyperLink()
    '「目次」シートがあったら削除
    On Error Resume Next

    Application.DisplayAlerts = False
    Worksheets("目次").Delete
    Application.DisplayAlerts = True

    '1番左にシートを追加したら名前を「目次」に変更
    Worksheets.Add Before:=Worksheets(1)
    ActiveSheet.Name = "目次"

    '2番目のシートから目次とハイパーリンクを作成
    Dim i As Integer
    For i = 2 To Worksheets.Count
        With Worksheets("目次")
            .Range("A1").Value = "目次"
            .Hyperlinks.Add Anchor:=Range("A" & i), _
                Address:="", _
                SubAddress:="#" & Worksheets(i).Name & "!A1", _
                TextToDisplay:=Worksheets(i).Name
        End With
    Next i
    Worksheets("目次").Select
End Sub
    
```

Callout 1: (') シングルクォーテーションで始まる1行はコメント(緑色文字)といい、覚書メモだ。コード実行時は無視される。

Callout 2: Addの後ろは半角スペース



ちょっと分かりにくいのが、以下の3行の右端はカンマのあと(半角スペース)アンダースコアの2つが必要だ。この(半角スペース)アンダースコアの組み合わせを「改行文字または行継続文字」といい、本来1行で入力する長いコードを改行する際に使用する。覚えておこう。

(1)重要

```

.Hyperlinks.Add Anchor:=Range("A" & i), _
Address:="", _
SubAddress:="#" & Worksheets(i).Name & "!A1", _
    
```

Callout 1: こういふところに半角スペース

Callout 2: アンダースコア

Callout 3: 改行文字 行継続文字

#の右側と!の左側にだけ、シングルクォーテーション(')があるので注意。

3 最後に、

1. 入力したコード内のどこでも良いのでクリック
2. キーボードのF5キーを押す(=コードが実行される)
3. 特に変化はないが Visual Basic Editor は閉じて良い

Excelの「目次」シートをみてみよう。
全シートの目次が作成されている♪ リンクをクリックすると該当するシートがアクティブになり、セルA1が選択されていることを確認しよう。きちんとハイパーリンクが機能しているはずだ。

もしエラーになる(=赤い文字になる)場合は入力コードに間違いがあるので、再度コードをチェックしよう。目次はコードを実行するたびに書き換えられるので、シートの追加・削除の場合も都度対応可能だ。さあできたかな？

	A	B
1	目次	
2	R2講座一覧	
3	R2担当講師一覧	
4	R2会場予約	
5	R2担当割	
6	R2機材予約	
7	R2補助職員予定	
8	R2経費一覧	
9	R2講座別出席簿	
10	R2資料記録	